

第 3 8 6 回

香川海区漁業調整委員会議事録

令和 4 年 1 月 3 1 日

諮問された内容で適当である旨答申することに決定した。
第2号議案 「令和3年度連合海区漁業調整委員会について（協議）」
を事務局が報告した。

6. 議事のあらまし

北尾会長があいさつの後、議長となり、議事録署名人に山口委員と嶋野委員を指名して議事を進行した。

〔北尾会長〕

それでは議題に入ります。「点火いさり漁業許可の公示について」知事から諮問が参っております。事務局説明願います。

〔事務局（益井主任）〕

（資料1に基づいて説明）

〔北尾会長〕

ただいま点火いさり漁業許可の公示について事務局から説明いただきました。件数が4件ということです。この件について何か意見等ありますか。小見山委員から何かコメント等ありますか。

〔小見山委員〕

特にありません。よろしく願います。

〔北尾会長〕

それでは、よろしいでしょうか。

（一同、異議なし）

〔北尾会長〕

それでは、許可の公示については、適当である旨、答申することとします。

続きまして、「令和3年度連合海区漁業調整委員会について」、事務局から説明願います。

〔事務局（中山副主幹）〕

（資料2のうち、広島・香川連合海区委員会の事前協議結果について説明）

〔北尾会長〕

ただいま、広島・香川連合海区委員会について説明がありました。この件に関して、何か質問等ありますか。

（一同、意見なし）

〔北尾会長〕

では、次の説明をお願いします。

〔事務局（中山副主幹）〕

（資料2のうち、愛媛・香川連合海区委員会の事前協議結果について説明）

〔岩田委員〕

かに建網の協議について、ここ2年は開催されていませんが、3年前に開催したところ、双方意見は出ましたが、納得するという意見でまとまったと思いますし、それ以降は特に問題は聞いていません。

〔事務局（中山副主幹）〕

行政としても、特に問題は聞いておりません。

〔北尾会長〕

愛媛・香川連合海区委員会の開催について、何か意見等ありますか。

(一同、意見なし)

〔北尾会長〕

また当日にも岩田委員さんに先ほどのようなコメントをお願いできればと思います。
特に無いようでしたら、最後、岡山・香川連合海区委員会についてお願いします。

〔事務局（中山副主幹）〕

(資料2のうち、岡山・香川連合海区委員会の事前協議結果について説明)

〔北尾会長〕

岡山・香川連合海区委員会の開催について、何か意見等ありますか。

〔小見山委員〕

岡山県側が協議したいと言っているのは、岡山県海面に流せがたくさん入るからですか。

〔事務局（益井主任）〕

そういうことです。昨漁期、手島北などの水島灘において、さわら流せからまながつお流せの時期にかけて、かなり漁船が密集したため、向こうの地元の漁業があまり操業できなかったという苦情があったようです。例えば、「この場所は遠慮してくれ」といったことや、さわら流せに関しては番取りのこと等について、話合いができないかということを知っています。まだ岡山県側で話が十分に煮詰まっていけないようなので、今の時点では具体的な内容は定まっていますが、話を煮詰めながら参集範囲等を相談させてほしいと聞いています。

〔小見山委員〕

六島の方ではなくて、水島の寄島などの方面のことなのですね。

〔事務局（益井主任）〕

寄島や真鍋島、白石島などの方面の話だと聞いています。

〔森委員〕

小豆島の北の方ではそのような話はないのですか。

〔事務局（益井主任）〕

小豆島の北については、毎年話し合いを行っており、それぞれの優先日等の申し合わせ事項を決めて操業しています。

〔北尾会長〕

協議の場を設けることについては、いかがでしょうか。

〔小見山委員〕

話合いになりますかね。

〔事務局（益井主任）〕

内容にもよると思いますし、さわら流せとかつお流せで対象者が異なっているので、どういうメンバーを参集するのかということも検討しなければなりません。

〔小見山委員〕

入漁協定表に書いてあるように、岡山県側に入っていける人間はごく僅かです。

〔事務局（益井主任）〕

さわら流せに関してはそうですね。

〔小見山委員〕

まながつお流せは、たくさん入れるのですね。

〔事務局（益井主任）〕

まながつお流せに関しては、「県境付近海面」という形で、宇多津を中心に相当数入れるようになっています。無理をした漁業者も一部にいたという話も聞いております。

〔森委員〕

早いうちから漁場に行って場所取りをするという問題もありますよね。

〔事務局（益井主任）〕

場所取りに関しては、県内でも議論になっていると聞いていますので、そちらの方の動きも考慮しながら、岡山県側でどのように操業するのかということ、先方の意向も踏まえつつ関係者同士で話し合ってもらうのがよいと考えています。

〔北野委員〕

業者同士で話し合いをすれば良いのではないですか。海区で話をしても、ほかの人間にはわかりません。

〔橋本委員〕

くじ引きで決めるのが一番良いと思います。

〔小見山委員〕

言う事を聞く人間もいるし、聞かない人間もいるのです。

〔北尾会長〕

そうしましたら、メンバーも含めて関係者で話をするということによろしいですか。
(一同、異議なし)

〔北尾会長〕

その他、何かありますか。

〔小見山委員〕

いつも連合海区をする前に、（本島漁協が）下津井と（たこつぼなわの）協定を結んでいたと思いますが、まだ先方から何も言って来ないので、事務局から岡山県側に投げかけておいてもらえますか。

〔事務局（益井主任）〕

わかりました。

〔北尾会長〕

岡山の方はよろしいでしょうか。

(一同、意見なし)

〔北尾会長〕

そうしましたら、開催一覧について説明願います。

〔事務局（中山副主幹）〕

(資料2のうち、各連合海区委員会の開催一覧について説明)

〔北尾会長〕

開催一覧ということで、それぞれ計画されていますが、今後のコロナの感染状況によっては、人数を制限したり、場合によっては両県の代表者のみでの協議ということ

もあろうかと思えます。その辺りは、状況に応じて、私や事務局に一任していただくということによろしいでしょうか。

(一同、異議なし)

〔北尾会長〕

予定していた議題は全て終了しましたが、他に特にありますか。

(一同、意見なし)

〔北野委員〕

一点だけ聞いておきたいのですが、さわら流し網の前倒しの件は、やはり海区に出さないといけないのですか。

〔事務局（益井主任）〕

前倒しについては、「操業期間の変更」になるので、変更許可という手続きを行うこととなります。これについては、制度上、海区委員会の諮問というのは位置付けられていません。ですが、大きな変更になるので、この場で情報提供させていただくことにはなるかもしれません。

〔北野委員〕

わかりました。

〔北尾会長〕

では、これで海区委員会を閉じたいと思います。次回の連合海区はWebということで、一対一は昨年やりましたが、複数人数で機械もうまく動くかどうか非常に不安ですけれども、委員さんのご協力をよろしくお願いします。ありがとうございました。

〔閉 会 午前10時30分〕

上記は第386回香川海区漁業調整委員会の議事の顛末に相違ありません。

議 長 北 尾 登 史 郎

署名委員 山 口 豊

署名委員 嶋 野 勝 路